



「当たり前」と「感謝」

同窓会会長 浅野和志



千鳥会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により昨年は支部も含め総会はすべて中止しましたが、一年が経過して今年もただ黙して何も

しないのではなく、すでにご案内のとおり懇親会こそ行いませんが規模を縮小して十分感染対策を配慮したうえで本部総会を開催することとしました。Withコロナの時代、

正しく恐れながらも出来ることはやっていきたいと思えます。どうぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

このパンデミックのな

発行所 岡山県立笠岡高等学校 同窓会 岡山県笠岡市笠岡3073の2 事務局 0865 (62) 5128 印刷 (株) 正文社印刷所

か旅行、食事会、会合、イベント、お見舞い等々、今まで「当たり前」だった多くのことが突然制限され「当たり前」でなくなつて不自由になり、不満やストレスを感じるだけでなく出口も見えないなか他人にまでも「不寛容」になつている人が増えているような気がします。

「当たり前」の反対は「感謝」です。「当たり前」と思つた瞬間に「感謝」を忘れると言われますが、こういう時こそ今までの「当たり前」に改めて「感謝」してみたらどうでしょうか？

蛇口をひねると水が出る、スイッチ一つで電気が使える、電車は時刻通り、スマホがどこでも繋がる等よく考えれば、どれも「当たり前」なことでは

ありません。いかに今までの生活を「当たり前」と思い込み「感謝」の気持ち忘れて呑気に過ごして来たことか、このパンデミックを体験して気がかされました。

母校笠岡高校は来年百二十周年を迎えます。六月には十年ぶりに新しい同窓会名簿も刊行されます。名簿を見ると鬼籍に入られた方も多くおられますが、百二十年の間千鳥生としての「バトン」がいろいろな時代を経て大事に受け継がれてきたことを一ページめくる度に感じることができました。先輩から後輩へ、バトンを渡すほうも渡されるほうもただ「当たり前」に繋いでいくのではなく、「感謝」の気持ち忘れず繋いでいかないと

新しいステージへ

校長 山崎淑加



千鳥会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

笠岡高校は今年度、創立百二十年目を迎えます。長い歴史と伝統により培われた自由な校風のもと、生徒たちは真摯に文武一道に励んでいます。その

姿は、岡山県南西部の普通科進学拠点校としての進学実績や部活動の素晴らしい成果にも表れています。多くの生徒が希望の大学へ進学し、陸上競技部やサイエンス部が全国大会出場を果たす等、コロナ禍においても実績を残しています。また、生徒会や実行委員会を中心とした千鳥祭や笠岡駅

前イルミネーションの取組等、生徒が主体的に活躍する場面が多く見られるようになりました。中でも昨年、全国ニュースでも取り上げられ話題になったのが「カブトガニの剥製修復活動」です。校内で見つかった数十年前のものが見られる剥製を有志の生徒が、カブトガニ博物館の御協力により見事に修復しました。今は学校の玄関に飾っています。この活動をきっかけとして、「カブトガニの生息している海岸の環境調査」等をテーマに探究活動を深めたグループが、「全国ユース環境活動発表大会」において中国大会出場を果たしました。

高校教育は今、大きく変化しつつあります。令和二年度から「大学入学共通テスト」が始まり、令和四年度には、「新学習指導要領」が本格的に実施されます。そうした中で笠岡高校は、令和元年度入学生より進学重視型単位制に移行して「未来開拓型カリキュラム」をスタートさせ、地域社会やグローバル社会に貢献できる人材の育成を目指しています。制度の移行による教員の加配を利用

しながら、個に応じた少人数制の授業で、生徒一人一人の学力を伸ばしています。また、学校独自の科目「GLOBAL ENGLISH」や「自然科学探究」等を開設し、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力を養成しています。さらに、芸術系や体育系等の多彩な選択科目を設け、主体的な学習を行うことを可能にしています。地域の少子化の影響により、令和三年度入学生からは定員が百六十名になりましたが、文系・理系のコースを改編し、新たに「人文総合」・「理数総合」・「探究先進」の三つの学びのコースをスタートさせます。二年度から選択する進路目的別の各コースで、よりきめ細かく生徒の夢の実現を支援する体制を整えています。

千鳥で過ごす三年間で、生徒一人一人が夢に向かって全力で挑戦し、可能性を最大限に伸ばすことができるよう、教職員一丸となつて、千鳥の新しいステージを創り上げていきます。千鳥会の皆様には、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

# 東京支部が5

## 新たなライフスタイル

コロナ禍、新生活様式というべきか、大学生の息子の就職も最終面接まで、オンラインで就職内定が決まりました。ある会社は昨年の四月から出社不要という方針で、全てメールかオンライン会議で仕事を家から或いはワーケーションといったスタイルで郊外のリゾート地で、環境を変えて働くスタイルも進んでいるようです。

テレビなどのメディアもこのようなライフスタイルを特集するような動きもあり、東京一極集中から郊外へ、更に地方へと人の移動も進んでいるそうです。

一方、私の住んでいる横浜では休日の度に、県外の車や多くの観光客で混雑しています。統計的にも人が移動すれば感染が拡大するのは実証されている訳で、私自身、不要不急の外出は極力避けるようにしています。

コロナ禍だからこそ、「集まる」事に意味があると東京支部総会を何とか開催出来ないものだろうか、と、東京支部役員一同で協議を重ねたのですが、本年も安全・安心が確保されない限り、開催

は見送るべきとの結論に至りました。

同窓会の活動は全てボランティアでやっていますが、ここ数年、首都圏在住の平成卒業生の支部への参加が極めて少なく、より積極的な参加をお願いすると共に、この時代に合った支部の在り方も考えていくべきと感じています。

(東京支部 57年卒 佐藤 琢)

# 近畿支部が5

## 現実の苦悩のただ中で

高校時代、ロックバンドのKissをよく聴いた。メンバーのジーン・シモンズ(舌をベロンと出すベースリスト)の母フロラはユダヤ人でナチス独によるホロコーストの生存者だ。目の前で両親・兄を惨殺される。戦後、米国に渡り、一日十二時間工場に必死に働き、ジーンも七才から新聞配達をする。母フロラの口癖は「日々命があるだけで良い日なんだ」「生きていて健康ならばそれで勝利者なんだ」と。ジーンは母親の前で「不平を言うのは恥ずかしいこと」と子供なりに思っていた。私は大学時代、人生の価値観を見失っていた。見かねた笠高同級生から仏法を学び羅針盤を得た。

現在では地域の葬儀に導師として携わらせて頂いている。人の死と向き合う度に、自身のなすべきこと、使命を六十才過ぎた今特に自覚するようになった。「死を忘れた文明」と呼ばれて久しい。コロナ禍の危機に人間の見つめるべきは唯物主義の外界ではなく「生死を見つめる心の世界」であると気づかされた。ワクワク感さえ手に入れば全ては解決するという安易な態度では精神を蝕む消費資本主義から逃れられない。唯物主義は幻想ではない。内村鑑三の後世への助言「我が愛する友よ我々が生まれた時より世の中を少しなりともよくして往こうではないか」を身に染めつつ今日やるべき事に尽力す。

(近畿支部 53年卒 脇坂典明)

# 学校からの近況報告

教頭 藤丘 浩次

## ICTの活用による

### 新たな学びの創出

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の大きな影響を受けた一年でした。新年度開始から間もない四月二十日から臨時休業となり、六月一日の学校再開後も、感染防止対策を講じながら生徒・家庭・教職員が一

丸となって日々の教育活動に取り組んできました。この間、「学びを止めるな」を合い言葉に、様々な試みを行いました。特にオンラインを活用した授業は、県下でも先進的な取組として注目を集めました。

従前から本校では、「ICTの活用による新たな学びの創出」を掲げて授業改善に取り組みできました。そうした土壌が、コロナ禍のオンライン授業の推進にも大きな力となりました。

休業中に実施したオンライン授業では、ただ授業を配信するだけではなく、週ごとの登校日に理解確認テストを行ったり、質問教室を開いて生徒の学習上の悩みの解消に努めたりするなど、きめ細かな指導を継続しました。アンケートでは、九割近い生徒が「リアルタイムオンライン授業」「動画配信授業」「配信教材」のいずれも「内容の理解や学力向上に役立った」と回答しています。

また、学校再開後も「3密」の回避のため、生徒会役員選挙の立会演説会や各種講演会等もオンラインで実施し、さらには考查の解説動画の配信を行ったり、デジタルホワイトボードや思考アプリを使って授業を行ったりするなど、ICT機器を

活用した教育活動は一層拡大しています。

今年度からは国のGIGAスクール構想の下、一人一台端末が導入されました。本校ではiPadを採用し、「未来開拓力」を育む教員として、授業のみならず自宅学習や探究活動等で活用を進めています。国語も数学も英語も総合的な探究の時間も……あらゆる授業でiPadを活用する姿が見られています。行動の善悪を自ら判断できる力を身につけさせるデジタルシチズンシップ教育を重視してiPadの自由な活用を促し、生徒の主体的な学びにつながるよう実践を重ねています。

コロナ禍でのこうした取組は、生徒の可能性を引き出す個別最適な学びの創出につながることを確信しています。今後の笠岡高校の教育活動に御期待いただきまますとともに、一層の御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

※合格者数は過年度卒を含むのべ数。

# 令和3年度入試結果

## ◎国公立大学

- 京都1名、大阪1名、九州1名、神戸1名、岡山14名、広島2名、鳥取5名、島根5名、山口3名、徳島1名、香川6名、愛媛9名、横浜国立2名、名古屋工業2名、奈良教育2名、佐賀1名、長崎1名、名古屋市立1名、大阪府立1名、岡山県立5名、福山市立5名、下関市立3名など

## ◎私立大学

- 早稲田1名、青山学院1名、同志社1名、立命館4名、関西2名、関西学院4名、京都産業3名、龍谷1名、近畿11名、ノートルダム清心女子22名、就実24名、川崎医療福祉35名、広島修道9名、松山5名など

## ◎私立専門職大学・短期大学・専修学校・大学校

- 合格者合計251名
- 合格者合計26名

## \*事務局よりお知らせ\*

### 1 令和3年度笠岡高校同窓会 千鳥会総会

令和3年7月25日(日)  
11:00~12:00

岡山県立笠岡高等学校 千鳥会館  
※今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親会は行わず、総会のみ実施いたします。

### 2 千鳥教育ボランティア募集

笠岡高校では、学校での様々な活動に「千鳥教育ボランティア」としてご協力・ご活躍いただける方を募集しています。詳細はインターネット「笠岡高校 千鳥教育ボランティア」で検索してください。